

ETAJIMA GoON! Vol.58

しまだのいるお店 店主

しまだ ひろゆき
島田 裕之 さん

【活動紹介】

「しまだのいるお店」は、仕事の合間に島田さんが居れるときに開けるお店。お店では記念写真や遺影写真を撮ります。その他にも本の貸出・回収をしています。「しまだのいるラジオ」では、こぼすようにつぶやき続ける島田さんの言葉を正田さんが拾い、江田島市に住むふたりが話を延々と続ける番組。



いつまでも写真を残してほしい。

話聞いていてもどうしても飾られた写真が気になった。「写真はすべて現像して、額に入れて渡しています。」こげ茶色の額縁に茶

お店に一足踏み入れると、自然な笑顔が印象的な写真が目にとまった。書棚に並べられた本と、所々に手書きで書かれた文字が目を引き、アツという間にお店に来たことを忘れた。スタジオの窓枠越しに珈琲を入れる島田裕之さんとスタジオの背景が重なり、手前に並べられた写真に再び目がいった。



色の背景。並べて見ると統一感があるが、そこに映る人たちは様々な格好に一番いい笑顔で映っている。キレイなドレスや衣装ではないが、写真からは温もりと日常が伝わってくる。「いつまでも写真を残してほしい。」島田さんならではの思いが詰まっている。

島田さんの「やりたいこと」はコミュニケーションツールの一つ。江田島市のことや日常生活、出会った人を多彩なツールで伝え、記録と記憶に残す。伝えたいことが増えれば、これからはもっとやりたいことは増えるのだろう。忙しい中、やりたいことを全部やっている姿が目につく。これからも写真を撮り続けてほしい。

口下手な店主と話す島田さんだが、内なる思いは強いと感じた。ラジオの詳細はあまり聞けなかったが、直接島田さんの言葉を聞くことで雰囲気を感じてもらえるだろう。



▲バンド名は「ねこぞもんきーず」メンバー詳細は秘密

活動紹介

しまだのいるお店

しまだのいる江田島

しまだのいるラジオ

つむぐ通信

シリーズ連載 その121

【江田島市地域おこし協力隊】

- 観光事業総合プランナー 山田 京子
- オリブブランドクリエイター 鉄増 千夏
- 里海コーディネーター 向井 綾香
- プロモーション推進員 西尾 国弥
- 沖まちづくり協力隊 前谷 圭祐
- 観光事業総合プランナー サミ-ラ クマ-ラ
- 大柿高等学校活性化コーディネーター 前田 脩人

今月は
西尾 国弥 さん

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。



Instagramで情報を発信しています 江田島市地域おこし協力隊

こんにちは。4月に地域おこし協力隊として着任しました、プロモーション推進員の西尾国弥です。

私はこれまで、関東を拠点にカメラマンや映像クリエイターとして活動してきました。もともと江田島市には不思議な縁があり、大好きなこの街のために「自分の強みであるクリエイティブの力を活かしたい」と考え、移住と隊員への応募を決意しました。

これから映像や写真、SNSのノウハウをフルに活用して、江田島市の魅力を世界へ届けていきたいと考えております！

着任への想い

ホームページよりもSNS！時代に合わせて攻めのPRをいまや大企業から中小企業、自治体にいたるまで、ホームページ以上にSNSでのリアルタイムな発信が重要視される時代です。特に写真や動画は、言葉の壁を越えて一瞬で人の心を動かす力を持っています。だからこそ、私はSNSを最大限に活用し、江田島市のファンや「関係人口」を圧倒的に増やしていくことをミッションとして掲げています。

4月～6月の活動

島を巡り、人と繋がり、魅力を紡ぐ3ヶ月間着任した4月から現在までの期間は、まずは島を知るため、江田島市全体をくまなく巡ることからスタートしました。ただ景色を見るだけでなく、

地域に飛び込み、島民の皆様との交流を増やすことを最優先に活動してきました。そして、道すがら出会った魅力的な方々に突撃取材を敢行！「なぜ江田島市にいますのですか？」「江田島市の魅力は？」という問いを投げかけ、皆様のリアルな想いや笑顔をカメラに収めてきました。現在、この取材を元にしたショート動画をInstagramで続々と発信しています。皆様、撮影へのご協力本当にありがとうございます。

7月からの挑戦

まだまだ続く出会いの旅！島の熱量を発信し続ける

7月から、私の取材旅はまだまだ終わりません！さらに多くの地域へ足を伸ばし、多様なバックグラウンドを持つ方々と出会い、その魅力をカメラに収めて発信していく予定です。プロとしての映像制作や写真撮影のスキル、そしてSNSコンサルタントとしての視点を活かし、江田島市に眠る日常の美しさや人々の温かさを、最高に魅力的な形にして世界へ届けていきます。この数ヶ月で確信したのは、江田



島市の一番の財産は「人」の魅力だということ。ファインダー越しに見つめる皆様の表情は、どれも輝いていて、島外の人々を引きつける強いパワーを持っています。

まだ始まったばかりの挑戦ですが、地域の皆様と手を取り合って、一歩ずつ丁寧に進んでいけたら幸せです。カメラを持った私を見かけたら、ぜひお気軽に声をかけて、あなたの「江田島愛」を教えてください。これから、どうぞよろしくお願いたします！

